

1 適用の範囲

本仕様書は、市立若草小学校A1棟トイレ整備修繕に適用する。

2 修繕箇所

学校名： 若草小学校

住 所： 相模原市 南区新磯野2329

3 履行期限

令和 8 年 6 月 30 日

4 修繕内容

別紙のとおり

5 一般事項

本仕様書は業務の実施に必要な事項について定めるものとする。

なお、危険防止措置や作業に必要な業務については、受注者の責任において行うものとする。

6 法令等の遵守

(1) 業務の遂行にあたっては、関係法令を遵守しなければならない。

(2) 業務の円滑な進捗を図るため、諸法令の運用適用は、受注者の責任において行うものとする。

7 提出書類

写真 1式（着手前、施行中、完成等の確認が可能なもの）

修繕完成届

8 監督員

(1) 発注者は、監督員を置いたときは、受注者に告知する。監督員を変更したときも同様とする。

(2) 監督員は、発注者の権限とされる事項のうち発注者が必要と認めて監督員に委任したもののほか、設計図書(図面、仕様書等をいう。)に定めるところにより、次に掲げる権限を有する。

ア この契約の履行についての受注者に対する指示、承諾又は協議

イ 設計図書に基づく修繕の施工のための詳細図等の作成及び交付又は受注者が作成した詳細図等の承諾

ウ 設計図書に基づく工程管理、立会い、修繕の施工状況の検査、材料検査(確認を含む。)

(3) 発注者は、二名以上の監督員を置き、前項の権限を分担させたときにあってはそれぞれの監督員の有する権限の内容を、監督員にこの条項に基づく発注者の権限の一部を委任したときにあっては当該委任した権限の内容を、受注者に告知する。

(4) 発注者が監督員を置いたときは、この条項に定める催告、請求、通知、報告、申出、承諾及び解除については、設計図書に定めるものを除き、監督員を経由して行うものとする。この場合においては、監督員に到達した日をもって発注者に到達したものとみなす。

9 検査及び引渡し

(1) 受注者は、修繕が完成したときは遅滞なく、修繕完成届並びに修繕箇所の関係写真を発注者に提出し、発注者の検査を受けなければならない。

(2) 前項の検査に合格したときは契約目的が履行され、当該施設が受注者から発注者に引渡されたものとする。

10 第三者に及ぼした損害

(1) 修繕の施工について、第三者に損害を及ぼしたときは、受注者がその損害を賠償しなければならない。

(2) 修繕の施工について第三者との間に紛争を生じた場合においては、発注者と受注者で協力して紛争解決に当たるものとする。

11 相模原市暴力団排除条例に基づく契約解除等について

相模原市暴力団排除条例(平成23年相模原市条例第31号。以下「条例」という。)が施行されたことに基づき、次のとおり契約条件を定める。

(暴力団排除に係る落札決定の取り消し)

(1) 落札決定後、契約締結までの間に、当該落札決定の通知を受けた者(以下「落札者」という。)が、次の各号のいずれかに該当するときは、当該落札決定を取り消し、この契約を締結しないこととする。この場合において、取り消しにより落札者に損害が生じても、発注者はその損害の賠償の責めを負わないものとする。

- ア 落札者が個人である場合には、その者が、条例第2条第4号に規定する暴力団員等(以下「暴力団員等」という。)と認められるとき、又は、法人等(法人又は団体をいう。)である場合には、同条第5号に規定する暴力団経営支配法人等と認められるとき。
- イ 落札者が、神奈川県暴力団排除条例(平成22年神奈川県条例第75号。以下「県条例」という。)第23条第1項に違反したと認められるとき。
- ウ 落札者が、県条例第23条第2項に違反したと認められるとき。
- エ 落札者が条例第7条に規定する暴力団員等と密接な関係を有すると認められるもの、又は落札者の支店若しくは営業所(常時業務の契約を締結する事務所をいう。)の代表者が、暴力団員等と密接な関係を有すると認められるものであると認められるとき。

(暴力団排除に係る契約の解除)

- (2) 発注者は、契約後、受注者が次の各号のいずれかに該当するときは、この契約を解除することができる。この場合において、解除により受注者に損害が生じても、発注者はその損害の賠償の責めを負わないものとする。

- ア 受注者が個人である場合には、その者が、暴力団員等と認められるとき、又は法人等(法人又は団体をいう。)である場合には、暴力団経営支配法人等と認められるとき。
- イ 受注者が、県条例第23条第1項に違反したと認められるとき。
- ウ 受注者が、県条例第23条第2項に違反したと認められるとき。
- エ 受注者が条例第7条に規定する暴力団員等と密接な関係を有すると認められるもの、又は受注者の支店若しくは営業所(常時業務の契約を締結する事務所をいう。)の代表者が、暴力団員等と密接な関係を有すると認められるものであると認められるとき。

- (3) (2)の規定により発注者がこの契約を解除した場合においては、受注者は、契約金額の10分の1に相当する額を違約金として発注者の指定する期間内に支払わなければならない。
- (4) (2)の規定によりこの契約が解除された場合において、契約保証金の納付が行われているときは、発注者は、当該契約保証金をもって(3)の違約金に充当することができる。

(暴力団等からの不当介入の排除)

- (5) 受注者は、契約後、この契約の履行に当たって、条例第2条第2号に定める暴力団(以下「暴力団」という。)又は暴力団員等から不当介入を受けたときは、遅滞なく発注者に報告するとともに所轄の警察署に通報し、捜査上の必要な協力をしなければならない。
- (6) 受注者は、不当介入を受けたことにより、履行期限に遅れが生じるおそれがあるときは、発注者と履行期限に関する協議を行わなければならない。
- (7) 受注者は、暴力団又は暴力団員等からの不当介入による被害を受けたときは、その旨を直ちに発注者に報告するとともに、被害届を速やかに所轄の警察署に提出しなければならない。
- (8) 受注者は、不当介入による被害により履行期限に遅れが生じるおそれがあるときは、発注者と履行期限に関する協議を行わなければならない。

12 環境配慮事項

- (1) 「相模原市環境方針」の主旨を理解し、業務を行うこと。
- (2) 市への提出書類及び添付資料については、原則として再生紙を使用すること。
- (3) 業務実施時に車両を使用する場合は、アイドリングストップの実施を徹底し、他者に運搬等を委託する場合においても、アイドリングストップの実施を周知するよう努めること。
- (4) 業務の実施においては、廃棄物の減量化・資源化に取り組むとともに、廃棄物の処理にあたっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等、関連法令等を遵守し、適正に処理すること。

13 車両通行時安全配慮事項

- (1) 原則、登下校時や休み時間に車両の出入り並びに学校敷地内走行は行わないこと、また、やむを得なく出入り、通行する場合は学校の了解を得ること。
- (2) 学校敷地内は最徐行で通行し、渡り廊下を通過する際は一時停止と前後左右の安全確認をすること、また、同乗者がいる場合には1人が車両から降りて先導すること、又は、ハザードランプを点灯させて通行すること。
- (3) 駐車スペースからの発進時は車両周辺の前後左右の安全確認を行うこと。

14 疑義等の解決

- (1) 本仕様書に明記されていない事項及び業務の詳細等については、発注者の指示に従わなければならない。
- (2) 本修繕に疑義が生じた場合は、直ちに発注者へ連絡し、指示を受けるものとする。